

八王子市を第二の故郷に「エイトホーム」 住民とともに作りあげていくホームステイサービス

"Eight Home" to make Hachioji City your second home

大塚裕太, 窪田翔

指導教員 和田光平

中央大学 経済学部 和田光平ゼミナール

キーワード: ホームステイ, 第二の故郷, 孤独, 高齢化, 関係人口

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の影響により、多くの人々が孤独を感じ、これまでの人と人との繋がり大切さを実感したのであろう。野村総研の調査によると20~30代の若年層の2人に1人が新型コロナによる孤独を感じていることが判明し、これまでの孤独のイメージとは異なる層にも潜在的な孤独が存在することが明らかになった。これは「学園都市づくり」を進める八王子市にとっても避けられない問題である。

また、八王子市の令和3年6月末日の65歳以上人口は全体の27.36%で高齢化が進んでおり、高齢者に関する問題への対策が必要である。

そこで我々はこれらの問題を解決するため、住民とともに作りあげていくホームステイサービス「エイトホーム」を提案し、八王子市のさらなる発展を目指す。

2. 事業プラン

ホームステイと聞いて一般的には留学が想像されるが、我々がここで提案するホームステイは主に日本人に向けたものである。八王子市に居住しているすべての人がホストになることができ、ゲストは主に八王子市に就学する学生をターゲットにする。

サービスの展開方法は以下の通りである。

(1) ホストの対象に宣伝・情報発信を行い、ホストを募集・審査・管理を行う (2) エイトホームの

WEBサイトを利用し、ゲストの募集・審査・管理を行う (3) ホスト・ゲストのマッチングが円滑に進むようにサポートする

運営側が利用者に対して行うことは以上の手順である。ホスト・ゲストには以下の手順を必要とする。

【ホスト】

(1) 個人情報と暮らしの雰囲気や家族構成、料金などホストの紹介事項を登録 (2) 運営の審査後、募集開始 (3) リクエストのあったゲストと条件の確認などのやりとりを行う (4) 契約書に同意後、ホームステイ開始

【ゲスト】

(1) 個人情報と生活リズム、所属先などゲストの紹介事項を登録 (2) 運営の審査後、ホストの選択開始 (3) ホストにリクエストを送り、条件の確認などのやりとりを行う (4) 契約書に同意後、ホームステイ開始

3. 料金プラン

ホストはゲストに対して任意の料金設定をできるが、八王子駅の一人暮らし向け物件の家賃相場である月4~6万円程度を提案する。利用料金には光熱費のほか、交流促進のために週1回行われる食事「コミュニケーション・ミール」の代金も含まれている。

4. メリット

このサービスはホスト、ゲスト、八王子市の3つにメリットがあると考えます。

【ホスト】

ゲストを受け入れ共同生活を送ることで、新しい交友関係が生まれる。

また、ゲストを受け入れると謝礼として収入を得られる。

ホストが子供と同居しておらず高齢者夫婦の場合、そこでゲストが生活を共にすることで、子供に安心を与えられるため、ホスト対象者のエイトホームの利用を勧めるきっかけになる。

【ゲスト】

エイトホームを利用することで家賃、水道光熱費を抑えることができる。

また、ホストファミリーは地域に根付いている家族を想定しているため、ホストファミリーと共同生活を送ることで、知り合いや近隣住民を通じて新たな交友関係が生まれ、孤独の解消になる。さらに、地域をよく知る人たちが身近にいることで生活上有利になることや、安心材料が増える。

エイトホームを利用する学生のゲスト本人だけでなく、送り出す保護者の安心にもつながり、保護者とホストファミリー間の新たな交友関係も生まれる。

【八王子市】

高齢化の進行により、高齢者の孤独死リスクや認知症、虐待が増加する可能性がある。そこで、ホスト・ゲストの協力のもと八王子市の見守り協定事業に参加する。ホストファミリーを通じてゲストに高齢者との交友関係が増えることで、八王子市の高齢者を見守る目が増え、高齢者に関する問題の早期発見になる。同様に災害時の活動や、詐欺などの犯罪被害の未然防止も期待できる。

はちおうじ学園都市ビジョンによると、八王子市では大学卒業時の就職などのタイミングで大きな転出が多く、人口減少傾向がある。エイトホームでの経験を通じて、八王子市に定住する人、八王子市を第二の故郷として関わっていく人が増え、八王子市の関係人口が増加する。

5. 今後の課題

我々は現在以下の2点の課題を想定している。

1点目はホームステイやシェアハウス事業において、ゲストが合鍵を複製し悪用するのではないか、という不安がホストに生じることである。そこでスマホやICカードで開錠できるスマートロックの導入のサポートを検討している。

2点目はホームステイ中のトラブルに対応できる保険を用意することである。そのために保険会社への協力・提携を求める必要がある。

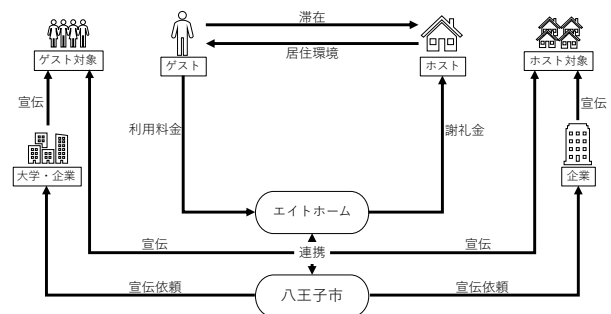
6. 行政への提案

行政への提案は以下の2点である。

1点目は、本サービスの宣伝の一部を八王子市広報プロモーション課に依頼することである。具体的には八王子市公式 SNS と広報はちおうじに掲載し、宣伝していただくことである。

2点目は、ゲストの利用料金に対する補助金の導入である。補助金が八王子市に住むインセンティブを高め、エイトホームの活発な利用を期待できる。そのため八王子市と具体的に補助金について話し合いの機会を頂きたい。

《エイトホームの全体像》



7. おわりに

私たちは八王子市の孤独と高齢化に対する問題をエイトホームプロジェクトで改善できると確信している。当プロジェクトを通じて八王子市がより愛着を持たれる街に、そして第二の故郷と思ってくれる人がより増え、八王子市のさらなる発展を願っている。